

6. 東海（地域別調査機関：三菱UFJリサーチ&コンサルティング株式会社）

（－：回答が存在しない、＊：主だった回答等が存在しない）

分野	景気の先行き判断	業種・職種	景気の先行きに対する判断理由
家計動向関連 (東海)	◎	コンビニ（商品企画担当）	・ワクチンの接種完了拡大に伴い、行業や旅行を主体とした人の動きが活性化すると見通しから、景気回復が見込まれる。
	◎	都市型ホテル（経営者）	・新型コロナウイルスの感染状況次第である。
	○	商店街（代表者）	・新型コロナウイルスの感染が収まっていくのではないかと思う。
	○	商店街（代表者）	・コロナ禍の終息がみえてくれば、気分的に消費も改善してくると期待している。
	○	一般小売店〔生活用品〕（販売担当）	・外出自粛等の要請が明けて、多少は客足が戻るのを期待する。
	○	一般小売店〔書店〕（営業担当）	・コロナ禍でも、秋～年度末にかけての受注量の増加が期待される。
	○	百貨店（業績管理担当）	・緊急事態宣言が発出されている今～来月が底だと考えている。ワクチン接種が進むことにより、客の購買意欲は上向いてくると考える。
	○	コンビニ（店長）	・まん延防止等重点措置の適用や緊急事態宣言の発出で、目に見えて来客数と売上が減っており、解除後の回復に期待する。
	○	家電量販店（営業担当）	・ワクチン接種率のアップに伴い人の動きが活発になり、経済活動が改善していくと思う。
	○	乗用車販売店（経営者）	・生産の遅延は、多少改善すると思われる。
	○	住関連専門店（営業担当）	・現状の新型コロナウイルスの感染状況から、少しずつウィズコロナの状況のなかでもリフォームや新築物件の見込みが出始めている。また、今のうちに将来の投資に向けて資金を振り向けようという動きがある。
	○	その他専門店〔貴金属〕（経営者）	・ワクチン接種完了者が増加し、日々の新規感染者数が減少し、緊急事態宣言が解除されることにより、人流が戻ってくることを期待する。
	○	バー（経営者）	・年末に向けてワクチン接種も進み、年末年始に人が動くことを期待したい。
	○	観光型ホテル（経営者）	・現在よりもワクチン接種が進めば重症者や死亡者を減らすことができ、不要不急の外出を自粛する要請もやや緩和されるという見通しが立ち、大局的には、景気はやや良くなる方向に向かうと考える。
	○	ゴルフ場（支配人）	・10月になると入場者の予約は順調で、前年同日比ではかなり多くの予約が入っている。今月の不振とこの先10～11月のゴルフシーズンを考えれば、景気は良くなっていくと思う。
	□	商店街（代表者）	・当地にも緊急事態宣言が発出され、今が底だと考えているため、景気は変わらないと判断した。
	□	商店街（代表者）	・世の中の状況が悪すぎる。以前のような生活スタイルに戻ることへの諦め感、閉塞感が充満しており、しばらくはこの状況が続きそうである。
	□	商店街（代表者）	・ホテルの知り合いが、宴会はこの1か月くらいで大分持ち直し、婚礼なども今週末では割と多く感じると言っていたが、緊急事態宣言が発出されて、この先いったいどうになってしまうのか不安である。
	□	一般小売店〔結納品〕（経営者）	・新型コロナウイルスによるこの状態はどうしようもない。
	□	一般小売店〔酒類〕（経営者）	・飲食店への休業・時短要請が解除されても、利用客は限られた人のみで、コロナ前への回復は当面望めそうにない。企業内での飲食店利用自粛が解除されない限り難しいと考える。
□	一般小売店〔生花〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染拡大が収まらない限り、景気は良くならない。ワクチンの接種が若い人にまで行き渡るのを待つしかない。	
□	一般小売店〔贈答品〕（経営者）	・ギフト業界は夏～秋に向かってイベント及び結婚式等が増えるが、残念ながらコロナ禍から回復もせず、現状の低いままやや悪い状態が3か月後もそのまま続いていると思う。画期的な新型コロナウイルス対策が採られて人の流れが増えれば、また人の交流が広がるが、3か月くらいでは今と変わらない状態がそのまま続くと思う。	

<input type="checkbox"/>	一般小売店〔果物〕（店員）	・3か月ほどでは変わらない。
<input type="checkbox"/>	一般小売店〔和菓子〕（企画担当）	・新型コロナウイルス感染がまん延しており、先行きには何の変化もないと思う。
<input type="checkbox"/>	百貨店（企画担当）	・8日からのまん延防止等重点措置、20日からの地下食品売場の入場制限、27日からの緊急事態宣言発出で、日を迫うごとに来客数が減少した。20日以降は前年を割り込む状況が続いている。感染拡大に歯止めが掛かり、ワクチン接種が進む等消費者の日常に安心感が得られなければ、この状態が続くと思われる。
<input type="checkbox"/>	百貨店（経理担当）	・緊急事態宣言の発出により、引き続き悪いと考える。
<input type="checkbox"/>	百貨店（営業担当）	・ワクチン接種が進み緊急事態宣言が解除されるまで、この傾向は続くと思われる。
<input type="checkbox"/>	百貨店（計画担当）	・新型コロナウイルスの感染状況は改善に向かうと思われるが、今後も感染の波が続く、すぐに収束するとは思えない。ワクチン接種を済ませても行動を自粛している人が多いと感じる。
<input type="checkbox"/>	百貨店（販売担当）	・新型コロナウイルス新規感染者数の増減、緊急事態宣言などで状況が常に変わるため予測がたてられない。今の波が落ち着けば、徐々に良くなる可能性はある。
<input type="checkbox"/>	スーパー（経営者）	・新型コロナウイルス終息なくして景気回復なしと改めて強く感じている。
<input type="checkbox"/>	スーパー（店長）	・ワクチン接種が進んでいるが感染者は増え続けており、ワクチン接種が完了するまではこの傾向は変わらないと思われる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（営業企画）	・今後の感染拡大状況によるところが大きく、直接的な売上の予測は難しい状況である。ただ、全体的な購買動向は少しずつ低下しているように感じる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（販売担当）	・来客数が以前より減っているため、売上も上がらないのではないかとと思う。
<input type="checkbox"/>	スーパー（総務）	・相変わらず新型コロナウイルスの影響で外出等の自粛もあり、長期にわたる自粛で慣れてしまっている面もあるため、現状の動向が続くと思われる。
<input type="checkbox"/>	スーパー（ブロック長）	・感染状況次第にはなるが、悪化の状況が変わらなければ、内食需要の増加により変わらない見込みである。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・新型コロナウイルス感染終息のめどが立たないため、来客数が回復してくる様子は見えない。商品の購入量も、おにぎりなど即食系が伸び悩んでいるため、現状と大きくは変わらないと考える。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（エリア担当）	・期待した東京オリンピックでの景気浮揚も、ワクチン接種が進むことによる新型コロナウイルスのマイナス影響の減退も空振りになり、この先に期待が見いだせない。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・止まらない新型コロナウイルスの感染拡大とワクチン接種とのせめぎ合いだが、特に解決策も見当たらない。このまま続くと思う。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店長）	・ワクチン接種の普及により来客数は回復するが、ワクチン接種者でも感染が多く確認されると、景気回復は厳しくなる。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（商品開発担当）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着くまでは変わらないと考える。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（本部管理担当）	・緊急事態宣言がいつ解除されるかの1点に尽きる。今以上の景気悪化はないと考えているが、緊急事態宣言の解除がなければ景気回復の可能性も見込めないため、変わらないと考える。ワクチンの効果と接種完了者数の増加に期待したい。
<input type="checkbox"/>	コンビニ（店員）	・新型コロナウイルスの影響で外出が減ると、行楽シーズンでも来客数が期待できない。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（経営者）	・元々年配客は不要不急の外出を控えている。緊急事態宣言が解除され、少しずつ新型コロナウイルスの感染が収束に向かうことを願う。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（店長）	・ワクチン接種が更に進めば、これまでの自粛からの解放感により客の増加につながるが、今後の接種状況や社会活動次第である。ただし、2～3か月ではそこまで回復しないと思われる。

<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（売場担当）	・新型コロナウイルスの感染状況が、今後の景気に大きく影響すると思われる。現状に鑑みると、ワクチン接種は進んでいるが、感染拡大には歯止めが掛かっていないことから、現状と大きな変化はないと考えている。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（売場担当）	・大体今の時期に、夏休みに入った大学生が実家に戻り就職活動や成人式のための服を購入するが、今年はそれがまだ少ない。今後もまだまだ暑いため、スーツを購入する人も少ない。あと2～3か月はこの状況が続くと思う。
<input type="checkbox"/>	衣料品専門店（販売企画担当）	・新型コロナウイルスの感染が落ち着くまでは、この状況が改善する見込みがない。
<input type="checkbox"/>	家電量販店（店員）	・夏休み明けはオンライン授業でのスタートになるようだが、既に大学生は環境を整えている。小中学生は学校から端末の支給があるので、PC関連の伸びも余り大きくはなさそうである。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（営業担当）	・新型コロナウイルス変異株の感染爆発がしばらく続くと思う。多少収まったとしても、また新たな新型コロナウイルス変異株がまん延して、しばらくは今の状況が続いていくと思う。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（経営者）	・半導体不足の影響は薄まるものの、コロナ禍で東南アジアからの部品調達に問題がある。車の生産に大きな影響が出ており、受注はあるものの納車ができない。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・これから年末に向けて、店舗への来場促進企画も多く採り上げられると思われる。新型コロナウイルスの感染状況にもよるが、各社のCMによる相乗効果で客の出足が伸びることを期待したい。
<input type="checkbox"/>	乗用車販売店（従業員）	・具体的な期待はできず大きく変わることはないが、実際に皆が動き出したという大きな流れは変わらないと思う。環境はまあまあ良く手応えもあるが、非常に期待できるというほどでもない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔雑貨〕（店長）	・新型コロナウイルス変異株がまん延する恐怖感が残る。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔書籍〕（店員）	・ワクチン接種が進み多少人の流れが戻るのではないと思うが、景気が悪化する懸念もあるため、余り期待はできない。
<input type="checkbox"/>	その他専門店〔雑貨〕（店員）	・コロナ禍にある程度収束の兆しがみえてくればよいが、今の状況を見るとなかなか難しいと思われ、長引きそうである。
<input type="checkbox"/>	その他小売〔ショッピングセンター〕（経理担当）	・売上高は、前年比マイナス4.9%で前々年比はマイナス5.3%である。来客数は、前年比マイナス4.1%、前々年比マイナス14.0%である。
<input type="checkbox"/>	高級レストラン（経営企画）	・ワクチン接種率の向上に伴い行動自粛の解除等を期待したいが、感染力の強い新型コロナウイルス変異株など、まだ予断の許さない状況である。
<input type="checkbox"/>	一般レストラン（スタッフ）	・景気の悪さも今がもう底ではないかと祈る。
<input type="checkbox"/>	その他飲食〔仕出し〕（経営者）	・繰り返されるメッセージは、何が正しくて何が間違いなのか分からなくなっている。会社の疲弊度も高いが、目に見えない個々の人の不安と混乱による精神的な疲弊度はかなり高まっているので、注意が必要である。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（経営者）	・全国的な厳しい宣言にしないと、新規感染者数がダラダラと増えるだけと思う。前年のような全国一斉の厳しい緊急事態宣言を出して電車も飛行機も減便しないと、感染爆発している地域はますます厳しい状態になっていくような気がする。海外でも新たにロックダウンをしている国も多い。旅行業界だけでなく全ての国民が大変なのは分かるが、本当に旅行業界の今の状況を何とかしてほしい。いろいろなキャンペーンが休止のなか、ワクチンを接種したら旅行券プレゼントといったキャンペーンをしてほしい。ワクチン接種が3回必要とのニュースも気になる。インフルエンザも流行するであろうし、この先の旅行商品の案内をしながらも、かなり不安な状況にある。
<input type="checkbox"/>	旅行代理店（営業担当）	・ワクチンに期待したが、接種が進んでも新規感染者数が減らないのは誤算だった。年内の回復は期待薄である。

□	旅行代理店（営業担当）	・ワクチン接種による集団免疫ができるには、あと半年掛かると思う。旅行需要が戻ってくるのは来年になりそうである。さらに、強力な新型コロナウイルス変異株が拡大し集団免疫ができないとなれば、旅行業の回復は更に先となり、出口がみえない状況が続く。
□	タクシー運転手	・当県でもワクチン接種への若者の意識と態度が変わってきているため、ワクチンに非常に期待をしている。皆がワクチンを早く接種して、少しでも新規感染者数が減り客が増えることを願っている。
□	タクシー運転手	・ほぼどん底であり、変わりようがない。
□	通信会社（サービス担当）	・客先のニーズにあったサービスがなければ、他社へ乗換えや解約が増えていくと思う。
□	通信会社（営業担当）	・在宅需要による新規回線開通が少なくなっている。
□	その他レジャー〔スポーツレジャー紙〕（広告担当）	・もはや感染状況次第という気がするので、現時点では全く不透明に思える。
□	美顔美容室（経営者）	・人気商品のキャンペーンは8月末で終了するが、別のキャンペーンが始まったため、このままのペースでいきそうである。
□	その他サービス〔介護サービス〕（職員）	・幸い営業を止めることなく運営できているが、若手職員で感染者が発生した場合には、業況への影響も少なからず出てくると考える。
□	設計事務所（経営者）	・案件数の減少が続いたままの状況は変わらない。
□	その他住宅〔室内装飾業〕（従業員）	・この先は住宅リフォーム、新築物件、工場の設備投資などの受注を見込んでいく。
□	その他住宅〔不動産賃貸及び売買〕（営業）	・例年では10月は繁忙期だが、緊急事態宣言で判断が難しい状況である。
▲	商店街（代表者）	・新型コロナウイルス変異株の影響によって過去最高の新規感染者数を連日記録するなかで、若年層の感染増加で今後は人出が減っていき、景気も同じ動きをするのではないかと考える。
▲	一般小売店〔高級精肉〕（常勤監査役）	・やはり新型コロナウイルスの感染者数である。
▲	一般小売店〔書店〕（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が全く終息せずどんどん広がっている状況で、先行きが本当に見通せなくなっている。
▲	百貨店（総務担当）	・緊急事態宣言が9月13日以降も継続しそうな状況で、百貨店の秋の季節商材や物産展は大きく規模を縮小せざるを得なくなり、売上面では一層厳しい状況が続く。唯一、海外ブランドや宝飾品などの高額品のみが好調である。
▲	百貨店（販売促進担当）	・足元の爆発的な新規感染者数の増加はかなりインパクトがあり、外出自粛と消費マインドの冷え込みにより当分回復は見込めないと予測している。
▲	百貨店（販売担当）	・ニュースでは人出は変わらないと報道しているが、来客数は今までになく減っている。
▲	スーパー（商品開発担当）	・このまま新型コロナウイルスの影響が続くとどうなるか先行きは見えないが、足元で来客数アップや売上回復の政策が打っていないため、景気は厳しい状況が続くと思う。
▲	スーパー（販売担当）	・入場制限が現実的になる可能性があり、集客企画が中止になることもあり、小売の企画が売上を左右しそうであるが、売上の急激な回復が望みづらい状況である。新たな需要を喚起できる商品の出現が望まれる。
▲	スーパー（支店長）	・今月から再び新型コロナウイルス新規感染者数が激増したことで、今まで以上に消費者の行動も慎重になると同時に購買力も下がっている。まだまだ先が見えない状況のため、今後も景気が回復する見込みはないと思われる。自社の業務転換も検討している。
▲	コンビニ（企画担当）	・まだしばらくは感染拡大が続くと思われ、広い世代にワクチン接種が進まない限り、回復には転じないと思われる。
▲	コンビニ（店長）	・新型コロナウイルス感染症の新規感染者数は、年度内は増えるのではないかと。秋～冬にかけて教育現場に関しても、休校、分散登校やリモート授業の流れが強化されるはずである。企業でも、事務作業はリモートワークの社員が更に増えるのではないかと。ワクチンの接種率の推移によっては好転もあり得ると思うが、いずれにしても数か月は厳しい見通しである。

▲	家電量販店（フランチャイズ経営者）	・地域振興券が始まり新規の客は微増する。学校が始まり子供にも感染が広がると、外出自粛ではなく外出制限が始まるのではと考える。
▲	乗用車販売店（経営者）	・長期にわたるコロナ禍の影響が、ここに来て現れている。企業や個人で所有する自動車の台数を減らしたり、点検の頻度を抑える客が出てきている。
▲	乗用車販売店（従業員）	・秋頃には半導体不足は解消される見込みであるが、世界中で造っている部品にロックダウンなどの影響で納期の遅れが出てくると、良い状況とはいえない。
▲	乗用車販売店（従業員）	・9月は車の大幅な減産も発表になっており、納期が掛かる車が多い。納車まで2～3か月でも遅いのに、人気車には半年以上掛かる車もある。
▲	乗用車販売店（営業担当）	・ワクチン接種によって良くなっていくと信じていたが、ここ数か月の販売状況からは好転の兆しは余りみえず、加えて商品の生産にも大幅な遅延が発生しており、売りたいくても売れない状況が続くため、見通しは悪い。
▲	一般レストラン（経営者）	・コロナ禍でワクチン接種も思うようには進んでおらず、良くなる見通しが立たない。
▲	その他飲食〔ワイン輸入〕（経営企画担当）	・想定以上にコロナ禍の状況が長引いており、事業の継続が困難な取引先が増えている。
▲	都市型ホテル（営業担当）	・政府や県が出す感染拡大防止対策の内容によって、異なってくると思われる。
▲	旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルス変異株やワクチン接種の効果の半減など、冬に向けて更に厳しくなっていく、治療薬がなければこのままの状況が続く。また、半導体不足による自動車生産等の落ち込みや、エンジン工場の閉鎖が取り沙汰されるカーボンニュートラルに対応した業態転換など、課題山積である。
▲	通信会社（企画担当）	・緊急事態宣言の影響か、人が特に動かなくなっていると思う。感染拡大防止の対応が経済抑止に直結しており、この状況を変えない限り、悪化局面が続くものと思う。
▲	通信会社（営業担当）	・来月以降は、期待ができない。
▲	テーマパーク職員（総務担当）	・ワクチンを接種すれば感染しない印象であったが、そうでもなくなってきた。しばらくは新型コロナウイルス変異株との戦いとなる模様である。
▲	その他レジャー施設〔鉄道会社〕（職員）	・新規感染者数の増加が激しいので、今後の見通しも楽観できない。
▲	理美容室（経営者）	・まだまだこれから人が余り出歩かないため、景気は上向きにならないと思う。
▲	美容室（経営者）	・新型コロナウイルスの勢いが収まらないため、ますますイベントや外出が減る。なるべく外に出ないように思うので、来客数は減っていく。
▲	理容室（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が早く終息してほしいが、まだまだその兆しはない。
▲	美容室（経営者）	・緊急事態宣言が延長されるかもしれない、新型コロナウイルスの感染拡大はこのままずっと続いていくのかもしれない。その辺りの計算が難しい。
▲	設計事務所（職員）	・新型コロナウイルスの影響で景気が良くなるほどの話は全く聞かれない。
▲	住宅販売会社（経営者）	・食品及びその他の消耗品が値上がりしているため、住宅購入資金に回す金が少なくなり、住宅購入になかなか結び付かない状況である。先行き不透明である。
▲	住宅販売会社（従業員）	・木材の価格高騰により影響がかなり出てきている。
▲	住宅販売会社（従業員）	・新型コロナウイルスの感染状況は悪化するのでは、本来9月は決算期で税制面の変化や夏枯れの落ち込みから来場者が回復するが、むしろ落ち込むと考える。その影響は、当面続くのではないかと。
▲	その他住宅〔住宅管理〕（経営者）	・先行きが見通せないなか、再び新型コロナウイルスの新規感染者数が増えており、経済に与える影響が大きくこの先の受注が心配である。ワクチン接種を加速してもらいたい。
×	商店街（代表者）	・良くなる要因がない。

×	百貨店（売場主任）	・秋物が入荷する時期になるが、海外からの商品の入荷が少し遅れる予定である。定番品よりも新作を作っているため、定番品の在庫も少ないし新作の入荷も遅く、商品の品ぞろえが厳しい状態になりそうである。来客数も日に日に減っているため、新型コロナウイルスの感染が収束しない限り、厳しい売上が続くと思う。
×	百貨店（経理担当）	・緊急事態宣言の延長や対象地域の拡大によって市民生活と企業活動が共に長期的に停滞し、レジャー・外食を始めとする個人消費が大きく低下するとともに、企業の設備投資も縮小・先送り等の見直しが行われると考える。
×	スーパー（店員）	・長雨の影響で野菜の価格が高騰している。また、まん延防止等重点措置から緊急事態宣言へと変わったので、心理的にも多少消費に響くと思う。前年のような巣籠りを楽しむより、新型コロナウイルスへの緊張感の方が強くなっている。
×	スーパー（販売担当）	・10月に大型ショッピングセンターが近隣にできる。
×	コンビニ（店長）	・緊急事態宣言は9月12日までだが、今の状況をみると新型コロナウイルスが収まる気配もなく、売上の回復は見込めない。
×	乗用車販売店（従業員）	・景気が悪くなるというよりも、新型コロナウイルスの影響で物が造れなくなってきているため、この先メーカーにかなり大きく響いてくる。そうすると世の中の景気はかなり悪くなると思う。
×	乗用車販売店（販売担当）	・世界的な半導体不足による影響は恐らく来年の6月頃まで続き、主要なオプションが付かなくなる。かなり重要なオプションなので、販売もかなり低迷すると思われる。
×	一般レストラン（経営者）	・目先のことをやっていくというようなことを政治家が言っていたら駄目だと思う。政治家は、未来の展望を国民に示さなければならない。
×	一般レストラン〔居酒屋〕（経営者）	・先行きが見通せない。
×	一般レストラン（経営者）	・当県も新型コロナウイルスの影響で緊急事態宣言が発出され、足元の状況では解除も延長になりそうである。店舗前の国道の通行量もいつもより少なく、やや不安である。売上は例年と比べ落ち込むと見込まれる。
×	一般レストラン（従業員）	・飲食店は全く見通しが立たない。
×	一般レストラン（従業員）	・9月12日まで緊急事態宣言に従い休業しているが、同業者も言うようにまた延長になるのではないかと不安がある。とにかく1度ロックダウンをしてリセットしてもらいたい。
×	観光型ホテル（支配人）	・全てが逆戻りである。緊急事態宣言の発出が決まり、来月以降の他県からの修学旅行を始め地元の大口の会合も全てがキャンセルとなり大打撃である。宿泊のキャンセルも出始め、食堂もお盆には少しにぎわったが、この先また休業を余儀なくされる羽目になるだろう。年内の見通しも立たない状況になってきて、最悪である。
×	都市型ホテル（総支配人）	・緊急事態宣言が9月末まで延長されれば9月の売上は見込めない。9月は国体など団体客が入っていたが7割方キャンセルとなった。残りもキャンセルの可能性が大である。ワクチン接種のみでなく、早急の医療体制構築がなければ先行きの予想ができない。1年半に及ぶ新型コロナウイルスの影響は甚大であり、会社存続の危機である。
×	旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルス収束の見込みがない。
×	旅行代理店（経営者）	・新型コロナウイルスの感染が収束に向かわないと、景気が良くなる見込みが全くない。
×	レジャーランド（職員）	・緊急事態宣言の期限は9月中旬となっているが、延長の可能性も想定して来場予測をしている。前年は9～11月にかけてGo Toキャンペーンの効果があったが、今年は大規模な消費喚起施策はなく、ワクチン効果と相殺しても前年よりも厳しい状況になるのではと危機感を持っている。
×	テーマパーク（職員）	・新型コロナウイルスの感染が収束するまでは難しい。
×	観光名所（案内係）	・新型コロナウイルスの先行きが全くみえない。これはどうしようもない。
×	パチンコ店（経営者）	・コロナ禍の影響で一般客が出控えている。
×	美容室（経営者）	・まだまだ新型コロナウイルスの終息の気配がない。

	×	住宅販売会社（従業員）	・新築住宅購入の意欲が感じられない。
企業 動向 関連	◎	*	*
(東海)	○	化学工業（営業担当）	・今後、電材薬液メーカーの需要は更に伸びていく見込みである。
	○	窯業・土石製品製造業（社員）	・新製品の調理器具がテレビのニュース番組で紹介されたため、更に注文が増えて全く間に合わない。天然原料を使用しているため入手量も限られており、しばらく対応に追われそうである。
	○	電気機械器具製造業（企画担当）	・新型コロナウイルス終息に向けて、工場の稼働や物流が安定してくれば、売上向上の余地はまだあると思われる。
	○	輸送用機械器具製造業（管理担当）	・客先の生産停止はあるが、更に人々の外出が増えると思う。
	○	金融業（従業員）	・新型コロナウイルスの感染状況には波があり、繰り返すとみられるが、ワクチン接種が進むこともあり、落ち着くのではないかと思う。それによって景気が現在よりも良くなると思う。
	○	不動産業（経営者）	・今後は新型コロナウイルスの新規感染者数が減少していくと予想し、また、ワクチン接種が更に進み徐々に外出する人が増加すると見込んでいる。売上は徐々に回復していき、前年を上回ると思われる。
	□	パルプ・紙・紙加工品製造業（顧問）	・全国的に新型コロナウイルスの感染が日々拡大しており、ワクチン接種も進んではいるものの余り効果がみられず、このような状況のなか、景気は現状の悪いままで推移すると思う。
	□	化学工業（総務秘書）	・新規感染者数が多くなると緊急事態宣言を出して人流と飲食店の営業を抑えることを繰り返していたら、この悪い状態のまま続く。
	□	金属製品製造業（経営者）	・引き続き引き合いも減少しており、悪い状況が続くと思う。
	□	一般機械器具製造業（経営管理担当）	・受注量、販売見込みから景気は変わらないと判断した。
	□	一般機械器具製造業（営業担当）	・北米自動車向け設備投資で引き合いが増えてきて市場は動いているが、今度は部品不足、運送料金の値上がりや輸送できないことが増えてきて、なかなか製造・出荷がスムーズにできない。
	□	電気機械器具製造業（営業担当）	・新型コロナウイルスの影響で部品の供給に制限が出ている。
	□	輸送用機械器具製造業（品質管理担当）	・生産レートはしばらく下がったままで上がる様子はないが、これ以上下がることもない。
	□	建設業（営業担当）	・飲食店のような新型コロナウイルスによる制限は受けない業種であるが、大手企業の客は緊急事態宣言の発出で作業がストップするので、仕事がなくなるわけではないがなくなる。建築関係でも、材料が入らなくなるような新型コロナウイルスの影響が出ている。当業種では余り悪くなるということはないと思うが、作業ができない状況が今後も出てくるので、どちらともいえない。
	□	輸送業（経営者）	・コロナ禍次第で正直分らないというのが本音である。海外部品の不足にとどまらず、国内での感染拡大に伴う生産停止のリスクも高まっている。
	□	輸送業（エリア担当）	・コロナ禍でECは伸びている。新型コロナウイルスはすぐには収まらない。まだまだECは伸びていく。
	□	通信業（総務担当）	・コロナ禍は景気にダイレクトに影響を与えているため、手の施しようがない。ワクチン接種が進めば感染が収束するという期待感もなくなったため、何か画期的な感染症対策が発明されないと、いつまでたっても命が最優先で、景気回復は二の次になってしまう。
	□	通信業（法人営業担当）	・株価の上昇や経済指標は上向きともいわれているが、低所得者層の生活は苦しく、財布のひもはまだ固いように感じる。
	□	金融業（企画担当）	・現在の緊急事態宣言下では、景気が良くなる理由がない。新型コロナウイルス感染が収まっていけないと人々のマインドも消費に向かない。当面現在の景気が続くと思われる。
	□	不動産業（開発担当）	・土地の価格も変化がない。以前ほど高値を迫る企業も減ってきている。
	□	行政書士	・現状維持である。

□	会計事務所（職員）	・ワクチンを接種した人からも感染者が出ており、毎日の感染者数も増える一方の様子である。若い人のワクチン接種が進み、新規感染者数が減少に転じなければ、景気が良くなるとは思えない。
□	その他サービス業〔ソフト開発〕（社員）	・コロナ禍で行事は開催中止が相次いでおり、出張先での販売の増加が見込めない。
□	その他非製造業〔ソフト開発〕（経営者）	・開発は順調に進んでおり、3か月ほどで完成予定であるがそれほど急ぐ必要もないと思っている。物価の上昇が続いており、経済面では海外株価の暴落が怖い。何か危ういような気がする。
▲	食料品製造業（営業担当）	・取引先の閉店が今後も増える様子である。
▲	食料品製造業（経営企画担当）	・長引く緊急事態宣言で閉塞感は増し、劇的に改善することは考えられない。
▲	鉄鋼業（経営者）	・大手鉄鋼メーカーは、国内シェアが高いことを利用して、大手自動車メーカーのような大口客との値上げ妥結金額の3倍以上の値上げを、我々店売り事業者に断行している。明らかにおかしいやり方である。監督官庁も考えてほしい。これでは中小販売業者は潰れてしまう。
▲	金属製品製造業（従業員）	・忙しくなるという見方と仕事がないという見方の両方を聞くが、少なくとも原材料の価格高騰によるコスト高は違いなく、収益環境は良くない。
▲	電気機械器具製造業（経営者）	・現状でも非常に厳しいなか、鉄鋼メーカーからの再三にわたる値上げ、10月からは3割強の値上げで、価格転嫁ができない場合は完全に仕事をやめざるを得ないような環境に変わることが見込まれる。
▲	電気機械器具製造業（総務担当）	・高速通信に関係する機器の需要は強いが、今後半導体不足による納期の遅れに心配も出始めている。
▲	輸送用機械器具製造業（総務経理担当）	・大手自動車メーカーの4割減産、東南アジアからの部品供給停滞の影響がしばらく続くと考える。
▲	建設業（役員）	・お盆明けから新型コロナウイルスの影響を受けて集客が悪い。今後は、大手自動車メーカーの減産もあり更に客の動きが悪くなると考える。
▲	建設業（経営者）	・新型コロナウイルスのため雰囲気が悪く、とてもリフォームをやるとういう気にはならない。一般的な住宅に関しては、とにかく新型コロナウイルスの感染が収束しないと景気は動かない。
▲	輸送業（従業員）	・8月に入って、お盆以降は新型コロナウイルスの急速拡大の影響が見えだした。当分、感染拡大は収まらないようで、年内は厳しそうである。前年の大幅ダウンした頃に戻ってしまいそうで懸念している。
▲	輸送業（エリア担当）	・投資案件のマンション売買件数が足踏みしているということは、購入しても更に高く売れる見通しが立たない、供給過多になるということであり、先行きを見越した上でこういった購買トレンドが現れていることを考えると、景気は後退していくのではないかと想定する。
▲	通信業（法人営業担当）	・コロナ禍で消費者は賢くなり、必要な消費と不必要な消費を明確に分けられるようになった。不必要にもみえるぜいたくな消費こそ、景気回復の鍵のはずである。このままではアフターコロナも景気回復の望みは薄い。
▲	金融業（従業員）	・緊急事態宣言もあり、飲食店は利益が得られない、売上がないと非常に嘆いている。自動車関連でも今まで比較的良かったところが急激に悪くなっている状況から、この先も見通しとしては余り良くない。
▲	不動産業（経営者）	・コロナ禍のなか様子見であり、価格としては底値という感覚が浸透している。
▲	広告代理店（制作担当）	・客の業種で違いはあるが、新型コロナウイルス変異株の感染拡大やワクチン接種の遅れなどで広告出稿量は減少していくと思われる。
▲	公認会計士	・中堅・中小企業の生産性向上や後継者対策等の課題の解決には時間が掛かる。コロナ禍からの出口がみえない。
▲	会計事務所（職員）	・新型コロナウイルス変異株の急速な感染拡大により、取引先の店舗にも感染者が発生し、閉店・休業が出てきている。ワクチンの供給も不足しており、今後もしばらく新型コロナウイルスは終息しないと思われるため、景気の低迷が予想される。

	×	電気機械器具製造業（経営者）	・新型コロナウイルスの影響で緊急事態宣言がまた発出されたため、客先業界全体として自粛モードとなり、設備投資を控えるということで見積もった案件も流れる状況になっているため、景気は悪くなると予想している。
	×	新聞販売店〔広告〕（店主）	・再度の緊急事態宣言で、人を集めるイベントの中止など折込チラシの需要が減少する。
雇用 関連 (東海)	◎	—	—
	○	職業安定所（職員）	・半導体の供給不足や新型コロナウイルス変異株の感染拡大は今後も続いていくと思われるが、足元では自動車の受注数は増えており、今後数か月は同様の状況で推移していくと見込む。半導体の安定供給、ワクチン接種の進み具合、医療体制の充実が今後の鍵を握っている。
	○	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルス感染症の感染拡大や、半導体不足などの懸念材料はあるものの、基幹産業である製造業の求人数は増加しており、景気が回復傾向にあると感じる。
	○	民間職業紹介機関（営業担当）	・年末に向けて転職希望者が増加する時期になり、11～12月中旬までの企業の採用動向も活性化すると予測する。
	□	人材派遣会社（経営企画）	・変化の要因が見当たらない。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・求人数は戻りつつあるものの、求職者が不足してきている。
	□	人材派遣会社（営業担当）	・新型コロナウイルス対策により、一般企業の出社率も下がっている。そのなかで採用活動は停滞しており、この先も2～3か月は継続すると感じている。
	□	アウトソーシング企業（エリア担当）	・新型コロナウイルスの影響で海外での部品供給が滞り、部品不足や半導体不足により、好調だった自動車関連は国内工場が稼働停止になっており、今後も懸念される。
	□	新聞社〔求人広告〕（営業担当）	・新型コロナウイルスの感染状況の見通しが立たない。
	□	職業安定所（所長）	・企業整理等の話は余り聞かれないが、雇用調整助成金を活用して雇用を維持している企業が多い。
	□	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染状況が見通せないなかで、企業の採用意向の低下やパート希望者の求職活動の手控えなど不安要素はある。
	□	職業安定所（職員）	・当県への緊急事態宣言発出や、新型コロナウイルス感染症の東南アジアでのまん延による自動車部品関連の生産・物流の停滞による自動車生産計画の当面の滞りなどから、景気は変わらないと判断した。
	□	職業安定所（次長）	・産業別新規求人数を前年同月と比較すると、基幹産業である製造業を始めほとんどの産業で増加しているものの、コロナ禍にあって新型コロナウイルス変異株による急激な感染拡大に伴うまん延防止等重点措置の適用から緊急事態宣言への切替え等により、先行きの不透明感は一層高まっており、厳しい状況である。引き続き新型コロナウイルス変異株の感染拡大に注視していく必要がある。
	□	民間職業紹介機関（窓口担当）	・例年人の動きがある時期であるが、前年同様コロナ禍での景気回復が大きくは見込めないことから、一定数の動きにとどまりそうである。
	□	学校〔専門学校〕（就職担当）	・看護師養成課程を持つ本学において、前々年と比べた新型コロナウイルスの影響は、医療機関の消極的な採用に現れている。前年と比較して採用機会や人数が減少しているため、学生は、不安から熟慮なく早期内定先を就職先として拙速に決めてしまう傾向がある。
	▲	人材派遣業（営業担当）	・緊急事態宣言が解除されない限り、景気回復は見込めない。
	▲	人材派遣会社（社員）	・緊急事態宣言の延長、新型コロナウイルス変異株により景気はやや悪くなると判断した。
	▲	人材派遣会社（社員）	・お盆休み以降はリゾートホテルからの予約が減っている。
	▲	人材派遣会社（企画統括）	・新型コロナウイルス新規感染者数の急増で、先行きが全く不透明である。
	▲	人材派遣会社（営業担当）	・東京オリンピックも終わり、いよいよポジティブな材料がなくなった。
▲	職業安定所（職員）	・新型コロナウイルスの感染が収束せず、ワクチン接種が進んでも新規感染者数は減らない。	

	×	人材派遣会社（営業担当）	・主要客では10月からの予算削減が計画上決まっており、それに伴い業務終了するエンジニアの大半が、次業務を決定できていない。エンジニア稼働率は、再び低水準に戻ってしまう見込みである。
--	---	--------------	--